



これは何でしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

- しめきり 1月13日(金)必着
- あて先 〒783 南園市大坪甲二二〇一 南園市企画課 親子クイズ係
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈
- ◎第272回親子クイズの答えは、鐘でした。

- 第272回当選者発表(敬称略)
- (応募総数15通)
- 前田智榮 (大浦)
- 板谷千和 (緑ヶ丘)
- 中村久江 (前浜)
- 山田晃 (編生)
- 岡林ゆかり (包末)

☆ 思い出がいっぱい ☆

◆小学生のころ、大晦日の晩、同級生の家がお寺だったので毎年そこへ行っていたのですが、いつもおまわっている男の子がその夜だけは真剣な顔つきで、鐘をついていたのが思い出されます。

◆毎年欠かさず夜十二時まで「紅日歌合戦」を見ています。そのあと、布どんに入ると聞こえてきます。

◆おみそかに園分寺に鐘をつきに行きます。ねむいけどこの日はおそくまで起きています。

◆これをみたこと思い出します。

◆いつもこれの除夜の鐘が峰寺さんから聞こえ、それから毎年欠かさず年越しそばを家内十人分必ず作ります。それがすんだらお正月でした。小さかったけれど、お正月は十六歳になりました。早いものでした。

◆思い出といふより教えられたことがあります。四国八十八か所のお参りによく行きます。お参りをすませて帰るが、鐘がある(と)に気づきついたら、お参りが、鐘は「こんにちば、お参りに来ました」という心をこめて始めにつくのが正しいとのことでした。



広場

club クラブ



三和小 ゲートボールクラブ

ゲートボールというと、年配の方のスポーツと思われがちですが、若い年代でも十分に楽しめるゲームなのです。三和小では、地元のお年寄り6人の指導のもと、11人の部員がゲートボールを楽しんでいます。

もともとこのクラブは、地域の人の交流を図ろうと行われている「ふれあい参観日」がきっかけ。この行事で行ったゲートボールが好評で、地域の方たちからもぜひという声が上がりました。

指導にあたっている吉川裕さんは「子供たちは上達が早いので教えがいがあります。子供たちのうれしそうなお顔をみるのが楽しみです」と話してくれました。また、顧問の井澤姫美先生はこのクラブを通じて、仲間同士の助け合いを学んで欲しいとのこと。

形式張らず、気軽な感覚でゲートボールをすることが、世代間交流に役かっています。

おばあちゃんのお正月

新しい年がスタートしました。一年の計は元且にありと言いますが、皆さんはどのような新年を迎えたいでしょうか。

十市にお住まいで、市内最長寿の久尾徳寿さん(百三歳)に、お正月の様子を聞いてみました。



食欲旺盛で元気な 久尾おばあちゃん

久尾さんはもともと五台山の出身。小さいときから、近くの千代丸様という偉いお坊さんを祭ったお寺へ毎日お参りに行っていました。初詣ももちろん千代丸様、千代丸様のおかげで元気に長生きができていますか。

昔、正月にはかわらけ(素焼きの器)に入ったまこ(赤黒い土のような粉)を売りに来て、それを焚いてお参りをしたり、袋を持ち、女装をしてよその家へ「かいつつとうせ」と言いながらまわり、余興をするともうをもらえる。かいつつり、という楽しい行事がありました。

現在、久尾さんのお正月の楽しみは、果内外からお子さんやお孫さん、ひ孫さんが会いに来てくれること。全員が集まると大人数になりませんが、毎年お年玉をかまえて、心待ちにしています。「お年玉を渡すと『ありがとう』と言ってくれる。孫たちのその顔を見るのがうれしいんです」とおばあちゃんは笑顔で語ってくれました。

みんなの



三和地区の独居老人への給食サービス、ボランティアで支えている山岡礼子さんから、その様子を紹介します。

登み渡った空が心地よい、秋真つ最中の十一月二十五日、三和地区独居老人にお弁当を贈る会のボランティア十名は、楽しいひとときを、一生懸命ごちそう作りに励みました。

毎月のことですが、お米とたくさんの野菜の差し入れがあり、本

和と小学校の子供たちが贈ってくたさいました。今月は五年生が手染めの和紙で宝物を入れる箱を作ってくたさいました。市展に出品されているとの金賞よりも、もっともつとすばらしく見え、ボランティア一同がびっくりしました。大切な時間をプレゼント作りに当ててくださった学校の皆様、大変ありがとうございました。お年寄りの方々も楽しみに待ってくださっていますので、これからもよろしくお願ひします。

国司として土佐の地に赴任し、「土佐日記」を著した紀貫之。毎年十月中旬には、貫之をしのぶうと比叡山への墓参ツアーが行なわれています。道中、参加者が貫之に想いを託しながら歌んだ句を紹介します。

当に感謝しています。今月の当番が作ってくれた献立は、ぶりの照り焼き、凍り豆腐、すり身・シイタケ・えんどう・人参・すまき・卵を詰めた含め煮、ほうれん草のおひたし、キウウリ、ちりめんじゃこの酢物・さつま芋

私たちがボランティア一同も勉強を重ねまして、少しずつでも上達するように努力しておりますので、毎月楽しみにしててください。

貫之の墓参団

出 発

- 紀子墓参明日に控へし月の輪 高橋以登
- 陸の灯を過ぎ月のみの軌となる 中沢道子
- 妻立山・墓参・根本中堂 乾 たづ
- 紀子徳ぶ妻立の山は秋日和 小島強子
- 秋山の秋深みゆき 武内千代子
- 秋山の鐘とおぼしき露のみら 竹内とし子
- 秋日浅る紀子の墓まで 高橋以登
- まほろばの新米供へ紀子墓参 武内千代子

- 比叡山の法話身にしむ秋日和 乾 たづ
- 御開扉の如來を拝す露の堂 高橋以登
- 開帳の秘仏を照らす露燈 竹内とし子
- 養 虫 庵 武内千代子
- 秋風短く軒に養虫庵 武内千代子
- 養虫と名付け置けし床かな 竹内とし子
- 行状や美虫庵の塚ほこり 高橋以登
- 吉 峠越え視野一ぱいの稲架嶽 小島強子
- 勢子浦り布屋太鼓の山車を組む 中沢道子

- み吉野の一目千本もみづれる 中沢道子
- みよし野の山並みを背に台陣子 竹内とし子
- 暮夏ひ明日つ山並の境内に 田内賀代子
- 見下ろして皇宮跡といふ千草 竹内とし子
- 露地見ゆるほどの高きに秋露 高橋以登
- 平城宮跡 田内賀代子
- ガイド指す大和三山秋霞 田内賀代子
- 末松や朱雀大路を指す広野 竹内とし子
- 巻福の遺構を慕ふ 高橋以登
- 旅終る 田内賀代子
- 旅果つる飛機の窓より後の月 田内賀代子

(橋田薫明 選)